

A分科会

「部落差別って…今もあるの？」

分科会記録

参加中学生 12人

応神中学校 3人, 大麻中学校 3人

名和中学校 6人

司会・報告 大麻中学校

担当教員 吉成(応神中)

■自己紹介

■分科会紹介

私たちA分科会「部落差別って…今もあるの？」では、「昔のこと」について考えるのではなく、今現在の部落差別について考えていきたいと思っています。

以前、部落に対する「差別落書き」が、よく問題になっていました。ところが、それに加えて、最近では、若い中学生・高校生の日常会話の中に、差別的な言葉が、当たり前のように出てくるのが報告されています。

それ自体大問題です。なくしていかなければいけません。でも、そんなことができてしまうような人権感覚とは、どういったものでしょうか。同和教育から人権教育に変わったことで、同和问题・部落問題についての学習が軽んじられてきているのではないのでしょうか。こういった差別の現実がある以上、疑ってしまいたくもなりません。

部落差別に負けずに、結婚できるケースも増えてきたといいますが、そもそも「負けない」ということ自体、おかしいのではないのでしょうか。負けも勝ちもなく、そこに部落差別があること自体がおかしいのだと思うのです。結婚できるケースが増えてきたということは、解決できたわけではな

いということです。一人でも部落差別によって結婚差別にあい、苦しむ人がいる以上、それがたとえ誰であろうと、私たちは、思いを同じくする仲間として、闘っていかなければならないのだと思うのです。

先に述べたように、部落差別が完全になくなっていない現実の中で、学校や地域での同和问题・部落問題学習が後退するようであれば、昔起こった悲劇が、再び繰り返されないとも限りません。部落民であることは、おかしいことなのでしょうか？それとも、部落差別をする人がおかしいのでしょうか？黙って知らない振りをしている無関心な人は、いったいどうなるのでしょうか？

これから先、私たちがどう生きていけばいいのか、A分科会に参加した大人の人にも、いろいろと教えてもらいながら、参加したみんなで、明るい未来を考えていける会にしたいと思います。みなさん、どうぞよろしくお願いします。



■部落差別はあるか？

・全員が「あると思う」と発言するが、直接受けた者はいない。

■では、日常会話において差別的な言葉は使われているか？

死ね、キモイ、うざい、ハゲ、カス、タコ、殺す、バカ、アホ、ボケ、バジ、

■これらの言葉を聞いたり，言われたとき，どう感じるか？

- ・その場がいい雰囲気か，悪い雰囲気かによる。
- ・流す。
- ・別に傷つかない。
- ・気にしない。
- ・オタクというのは，熱中していることがあって，よいこと。
- ・知ってる人に言われるのはいいが，知らない人に言われると腹が立つ。
- ・言った人による。
- ・命の重みについて考えてしまう。

■では，自分が親の立場として，我が子が言われたり，言ったりしていれば，それはどう思うか？

- ・言った子に注意するし，自分の子どもにも注意する。
- ・親の立場とすれば，イヤ。いい気はしない。
- ・いけないこととして注意する。
- ・荒い言葉遣いの延長線上に部落差別もあることを考えると，日ごろから使っているけど，命の重みを考えると，使ってはいけないし，ましてや親の立場に立てば，使ってはいけないと感じる。



※午後は結婚差別や，今まで部落差別のことで聞いたこと，学んだことについて話し合う。

■結婚差別について，親とかのことにして話を聞いたことがある人はいるか？

- ・父が部落出身で，結婚のとき，母の家族ともめた。母は親とは一切話していない。自分は母の親と会ったことがない。今は母は父と離婚していないので，自分は母とも会ってない。暗い話だが…。
- ・中1のとき交流した大阪の子の母親は，嫁いだときに反対されて，嫌われ，ベランダから落とされかけ，縁を切ったらしい。その話を聞いて，そこまでするのかと思った。
- ・知っている人の父親が部落出身で，母親が両親に結婚話をしたとき，反対された。会ってもないし，見てもないのに。耐えられず，母は家を出て，結婚をした。しばらくたって，今はいけるそうだ。

■どうして部落だからといって反対されるのか？

- ・いけないと思う。
- ・関係ないと思う。部落差別があること自体おかしい。
- ・昔の名残。自分の見てもないことで判断している。おかしいと思う。
- ・自分の思いこみで決めつけるのはおかしい。
- ・おかしいと思う。
- ・なんで部落がいけないのかと疑問に思う。
- ・相手の親が世間体を気にしてるから。
- ・周りが決めつけるのはおかしいと思う。
- ・差別されたくて生まれてきたんじゃない。相手だって選んで生まれてきたわけじゃない。
- ・何も知らないくせに言うのはおかしい

し、差別があるのはおかしいと思う。

- ・昔の人が言い続けているから。「同和地区」という言葉をなくした方がいい。

※「何をもって部落は差別されるのか？生まれた所か？祖先がそうだったら言われるのか？引っ越したらどうなるのか？」といった内容に始まり、青年2人から中学生に向けて話がされる。



■今の話を聞いてどう思ったか？

- ・すごいと思った。
- ・自分は悪いことしてないと思ったし、私もそういう仲間づくりをしていきたいと思った。
- ・何度聞いてもいい話だと思った。
- ・ピーマンの話をもっと聞いてみたい。
- ・今のうちに仲間づくりをしていきたいです。
- ・自分に自信をもって行動に移せたことが素晴らしいと思った。
- ・差別を受けた話とかを聞くと、苦しい気持ちになったりするけど、差別にあっても暗くならず、逆に周りの人を幸せにできる生き方は素晴らしいと思いました。
- ・いい話を聞けたと思うし、今から仲間をたくさん増やして行って、いざというときに助けてもらえる仲間をつくりたいと思いました。
- ・正しいと思ったことは、正しいと突き進

むのはカッコイイと思いました。

- ・高校とかである講演会は暗い話で、同じかと思っていた。不安だったりもしたけど、話を聞いて良かった。

※「知識(歴史や家族のルーツを聞くなど)と技術(トークの技術)と経験(差別体験)をしっかり身につけてほしい。悪いヤツは去っていく。いい仲間は最後まで残る」といった内容の話が、再度青年からされる。



■最後に言っておきたい人はどうぞ。

- ・勉強になった。ちゃんと勉強していこうと思った。
- ・交流会をもっと深めていきたい。
- ・交流会に参加するのは2回目。学校でも人権学習があると思うので、今度は自分がしゃべれるようになってほしいと思う。
- ・これから学習会で人権学習について勉強し、深めていきたいと思った。もし来年もあれば、もっと自分から発表していきたい。
- ・まだ友達に自分のことを言えてないけど、お互いのことを言い合える仲間をつくっていききたいと思います。
- ・高校でも、意味のある学習を、司会者としてやっていききたいと思います。